

No. 1

しょうばら



## 脱炭素地域推進ニュース

発行日	令和5年4月20日
発行元	環境建設部環境政策課
TEL	0824-72-1398
FAX	0824-72-5517
mail	kankyo- seisaku@city.shobara.lg.jp

### 温室効果ガスの削減に向けて

地球温暖化防止に向けて世界的に関心の高まりが進む中、国は、令和2年10月に内閣総理大臣の所信表明において「2050年までに、我が国の温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す。」と宣言しました。さらに、内閣に設置された地球温暖化対策推進本部において、令和3年4月に「2050年目標と整合的で、野心的な目標として、2030年度に、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す。さらには、50%の高みに向け、挑戦を続けいく。」と表明しています。

また、令和4年4月に「地球温暖化対策の推進に関する法律」が改正施行され、本格的に脱炭素社会に向けた施策が始動します。

本市においても、再生可能エネルギーの導入などにより地球温暖化対策を推進してきましたが、令和3年3月に策定した「第3次庄原市環境基本計画」の目標として「今後の技術革新等を見込みつつ、2050年に国全体で、温室効果ガス排出ゼロを目指す。」と定めており、脱炭素社会の実現を目指し、カーボンニュートラルの実現に向けた市の取り組みを加速する必要があるため、このニュースで市民の皆さんへ情報提供を行います。

### 3Rの取組と分別したごみのリサイクルについて

3Rは、資源を有効的に繰り返し使う社会（＝循環型社会）を実現するための重要なキーワードです。さらに、ごみが減ると市のごみ施設で処理する量も減少するため、温室効果ガスの削減にもつながります。

皆様のご協力をお願いします。

● リデュース ●  
**① Reduse**  
**もっと減らせるかも？**

- マイバッグを持って買い物に行く
- 食料などの買いすぎに注意する
- 使用頻度の低いものはレンタルする

● リユース ●  
**② Reuse**  
**まだ使えるかも？**

- 不要なものは人に使ってもらう
- 詰め替え商品を利用する
- リサイクルショップを利用する

● リサイクル ●  
**③ Recycle**  
**生まれ変わるかも？**

- 正しく分別する
- 再生して作られた商品を利用する
- 食品トレイはスーパーなどの店頭回収へ



まずはごみを減らして、繰り返し使って、最後にリサイクルするという優先順位なんですね。じゃあ、私たちが分別して出したごみは、どんな風にリサイクルされているの？

分別したごみは、資源として生まれ変わっています。  
ペットボトル → 圧縮・梱包 → 搬出 → 破碎・洗浄されてマテリアル原料に  
空き缶 → 破碎・磁力選別 → 圧縮 → スチール資源、アルミ資源に  
『混ぜればごみ、分ければ資源』引き続き分別にご協力をお願いします！！

